

県立和歌山さくら支援学校 学校運営協議会

平成30年度 第4回【 2月 4日（月）】

出席者：委員 8 名、 協議会参加者 6 名

議題（当日の流れ）

- ① 学校長・議長挨拶
- ② 本日の流れの説明
- ③ 前回の協議会からのまとめと報告
- ④ 協議題①（作業製品の外部販売と目的について）
- ⑤ 協議題②（課題ある生徒たちを育てるために～企業からのサポート）
- ⑥ 意見交換・地域との交流・まとめ

議論した主な内容

- ① 校長が第4回を迎え、貴重な意見や協力して頂く企業等に挨拶を行った。
- ② 教頭が進め方について説明を行った。
- ③ 教頭が、地域のハーブ園と連携した取り組みや、来年度は、本物の製品作り（紙漉き道具）が導入されることを報告した。
- ④ 宿泊施設支配人が、作業製品の販売、新製品の開発に賛同してくれ、生徒との話し合いの様子や今後の展開について提案をした。
- ⑤ 進路部長が課題ある生徒への対応のひとつとして、企業の方の講師依頼を提案した。
- ⑥ 本校の課題ある生徒たちの実態そのものが、しっかり観れるよう学校との連携を蜜にしていくことが必要であることや、本物づくりを通して何を目的とし、何のために販売をするのかということをしっかり生徒たちに理解させる必要ではないかというキャリア教育の視点も、確認された。また、高等部生徒たちの積極的な取り組みとして、地域の幼稚園と交流を行った様子も報告し、共有した。

具体的な取組・活動 「地域のハーブ園との連携について」

和歌山市市役所高齢者地域福祉課の方と、さくら支援学校の作業班（園芸班）との話し合いにより、西ノ庄・ハーブ園の運営に協力していく方向になった。ハーブの苗を学校で育てたり、年間数回は、草引きや清掃に協力、イベントにも参加できるよう障害の重い生徒たちも、それぞれの役割を担える活動になるよう、工夫しながら取り組む計画となった。

